

KEYWORD

# 役立つ上に、にぎやかで楽しい！ そんな公共スペースのデザインを！！

公共施設を現状のまま維持するためには、毎年20億円もいる。  
もっと「行きたくなる場所」にすること、費用の軽減を同時に考えます。

## 提案その7

ひとつの施設で子どもから高齢者まで、みんなで使う統合！

老朽化施設は機能を1箇所にまとめて経費圧縮。それぞれの公共施設の維持管理計画を作るときは、施設の利用状況をデータで示す個別のカルテの提供と、住民との話し合いを求めます。

## 提案その8

地域や防災活動の拠点施設と、都市公園の一体的な整備へ

「都市のため、地域のため、市民のため」の大きな公園。楽しく学べる防災BBQや防災キャンプなど家族が訓練を意識せず、都市に備えられた防災機能を活用できるように取り組みます。

## 提案その9

住民や企業・大学の知恵を借り、もっといいアイデアをカタチに

名古屋芸術大学や民間企業、地域住民のアイデアをお聞きする制度(サウンディング制度)を整備して、にぎやかで楽しめる公共施設としての活用方法と、費用負担の軽減の両立を図ります。



英語教育の向上のため外国人指導助手の採用拡大・緊急時の情報提供のため民間(Yahoo,Google)との防災協定を締結・公共施設の維持管理・更新の計画推進・過剰負担の市民プール廃止、名古屋市との温水プール実現へ前進・防犯灯や道路照明灯などのLED化・行政職員の熊本地震被災地視察・災害ボランティア受け入れ態勢の改善・Facebookを活用した情報配信(市民活動推進課)・議会のペーパーレス化・その他

## 桂川まさのり プロフィール

昭和53年生まれの39歳。聖英学園師勝はなの樹幼稚園、師勝西小学校、熊野中学校、西春高等学校、立命館大学経済学部を卒業。就職しシステムエンジニアとして5年の会社員生活を送る。北名古屋市への合併を機にローム株式会社を退職、2006年に初挑戦し初当選。以後2010年、2014年と再選し現在3期目。現在、市議会副議長(2017年～)一般質問は12年で155項目。

毎日、カフェで直接話せる！ 12:00～  
Talk at Cafe 13:30 (火曜定休)

### AFuRe kitchen

徳重名古屋芸大駅を西に、徒歩10秒

カフェで本人に直接会えます！  
もっと気軽に、  
未来を話しませんか？

## NO!! 選挙カー

選挙カーを使わず、  
自転車で市内を  
回っています。



政策や普段の活動など、詳しくは本人までお気軽にご質問ください。  
桂川将典(本人)を派遣します。本人直通の連絡先までどうぞ！

090-8532-6156

Web <http://katsuragawa.info>  
E-mail [support@katsuragawa.info](mailto:support@katsuragawa.info)

チラシ印刷など政治活動費用のカンパなどはこちら！ → お振込先:桂川将典後援会 カツラガワマサノリ コウエンカイ  
ゆうちょ銀行 金融機関コード:9900 店番:089 預金種目:当座 店名:〇八九 店(ゼロハチキユウ店)口座番号:0204828

桂川将典後援会会報2018年3月号外 / 編集 桂川将典後援会 / 発行 平成30年3月20日 / 住所 北名古屋市鹿田神明附10

# 桂川まさのり

Masanori Katsuragawa  
Future Vision

# ベッドタウンから、 文教都市へ！！

ただ寝に帰るだけのベッドタウンではなく、  
「ここに住んでよかった」と思えるまちがいい。

大半の市民の方は、昼は名古屋で働き、夜に北名古屋へと帰ってきます。そんな北名古屋市のイメージは「ベッドタウン」。ほとんどの住民の皆さんがそう思っているのではないのでしょうか？

しかし、私はこのまちがただ寝に帰るだけのベッドタウンでいればいい、とは思っていません。私が求める北名古屋市の未来の都市像は「文教都市」です。ただのベッドタウンから、文化と教育を中心にした文教都市へ。今ここに住んでいる私たちが、そして子どもたちが、100年後にも誇りを持てるまちにしたい。そう思い続けてきました。

豊かな教育により、北名古屋市で育った子どもたちが未来へと大きく羽ばたき、それぞれの才能を活かして、今の世界をより良い未来の世界へと変えていく。そんな子どもたちを送り出す、誇りのあるまちへ。きっとそこにはもっと面白く、ワクワクする未来があります。



議員として12年、両親が移り住み、働き、そして自分自身が生まれ育ったこのまち。北名古屋市を愛してやまない私から、市民の皆さんへ。マニフェストという名のラブレターをぜひお受け取りください。



桂川将典



## 北名古屋の子どもたちの英語力はスゴイ！ でも、もうちょっと欲張りしたい！

平成25年12月議会で、私は外国語補助教員(ALT)の増員を要望し、実現しました。外国人の先生も増え、昔に比べて英語教育の質は格段に向上しました。これまでの先生と子どもたちの努力により、北名古屋市の**中学校3年生の57%が英検3級相当の実力がある**という**日本でトップクラスの結果**が出ました。



しかし、英語が自由に使えるか、**と言うと、まだまだ、というのが現状**です。いざ英語でしゃべろうとしてもうまく話せず、**単語単語を並べるとい子**がほとんどです。日本人が**中学・高校・大学で10年も英語を学んでいるのにうまく話せない**のは、これまでの日本の英語教育が「読む」「書く」に偏っていたためです。



子どもたちが実際に使える英語を身につけるには**教え方の工夫と努力、改善が更に必要**です。国は平成36年度には中学校3年生の70%に英検3級相当の実力をつけることを目標にしています。



同時に**英語はあくまでも道具**です。これからの社会では、相手の文化や立場を尊重した上で、自分がどうしたいか**伝える力**も重要です。進学や就職のためだけに学ぶのではなく、**将来の可能性を広げ、自分やまわりの人々を幸せにするための、本質的な「学び」が得られる教育**にしていきます。

KEYWORD

# たのしく、おもしろく、ためになる。 みんなが笑顔になれる北名古屋へ！

## 困っている人を見捨てない！ みんなが笑顔になれる共生のまちづくり！

雑誌記事の「働く女性に優しい街」で**1番になった北名古屋市**。共働き世帯は年々増加しており、**待機児童ゼロや児童クラブの取り組みを維持した、子育て環境の充実**が必要です。一方で**65歳以上の高齢者は約25%で4人に1人**。ひとり暮らしの**お年寄りが4167人**もいます。合併後の10年で2倍です。今後が心配だという声も少なくありません。



そんな高齢者の暮らしを支えているのは**現役世代**です。子育てや仕事が一と段落した人々が、趣味や交流を通じて、地域活動に加わる、という傾向もあります。**子どもが安心して暮らせるまちづくりは、若者にもお年寄りにも優しいまちづくり**です。他にも、小学校でプログラミング教育が必修化されるなど、テクノロジーが活用できるようになるための教育が期待されています。テクノロジーを通じて社会問題の解決を図る**パブリテック**を推進し、お住まいの皆さまの利便性をしっかり上げつつ、**将来の負担を軽減する社会**を目指します。

もっと  
北名古屋市を  
誇れるまちに



### 提案その1

使える英語を目指して、弱点の「聴く」「話す」チカラを伸ばします！

横浜市の市立中学校で生まれた英語の教授法**5ラウンドシステム**。中学3年での英検「**準2級**」以上**取得者がなんと87%**という**とてつもない成果**が出ています。子どもたちの英語力の更なる向上のための調査研究を進めます。

### 提案その2

シチズンシップ教育の導入で、社会に出たとき困らない子に！

**いじめ**が発生した時に日本の子どもは**傍観者になる割合**が高く、問題が大きくなりがちです。**正しい行い**ができ、自分や他者の持つ**権利や責任と義務、社会参画に必要な知識、価値観**などを身につけてもらう教育を推進します。

### 提案その3

ディベート(討論)やプレゼンテーションの理論と実践を学ぶ！

コミュニケーション能力の向上のため、**能動的な「調べ学習」**に繋がる討論や、要点のまとめ方など**伝え方の技術**を学ぶ機会を作るため、コミュニティスクールや特別授業を活用して**社会で役立つ「よのなか」を学ぶ機会**を創出します。

### 提案その4

子育てで親が孤立しない地域づくり。地域と学校の連携を！

子どもの成長は学校の中だけではありません。自分で社会を広げていきます。成長を一緒に見守っていただけるよう、**コミュニティスクールを通じて学校と地域の連携**に取り組みます。

### 提案その5

楽しく、面白く、ためになる。地域活動のヒントを探します！

自治会の人口の差は**37.5倍**。これまでの**地域活動を小学校区を軸につなぎ、空き巣対策や防災活動、子ども会**など、皆さまの活動がより理解され、支援の輪が広がるよう取り組みます。

### 提案その6

困っている人を笑顔に変える、地域活動の発展を支援します！

いつも挨拶する人の様子が今日ちょっとおかしい、と気づけるのは**付近の住民の方々**だけです。善意を少しずつ持ち寄れば、安心が広がります。**小規模多機能自治体**に取り組みます。

KEYWORD

# グローバル社会に羽ばたく 子どもが育つまち、北名古屋へ！